

地熱発電の資源量調査・理解促進事業費補助金

令和2年度予算額 104.5億円 (86.5億円)

事業の内容

事業目的・概要

- 地熱発電は、天候等の自然条件に左右されず安定的な発電が可能なベースロード電源であり、我が国は世界第3位の地熱資源量(2,347万kW)を有していることから、導入拡大が期待される重要な低炭素の国産エネルギー源です。
- 一方で、他の再エネと比べ、資源探査に係るリスクやコストが高い、温泉資源との調和を図り地域の理解を得ることが必要といった課題があります。
- 本事業では、探査リスクを低減するため、JOGMECが新規の有望地点を開拓するためのポテンシャル調査を行うとともに、事業者が実施する地表調査や掘削調査などの初期調査に対して支援を行います。また、地熱開発に対する地域住民等の理解促進に向け、地熱発電に対する正しい知識の共有等を行うための勉強会などの取組に対して支援を行います。
- 令和2年度においては、ポテンシャル調査は新たに先導的資源量調査を加え、9件程度実施し、地表調査・掘削調査は30件程度、理解促進支援事業は15件程度支援します。

成果目標

- 本事業は平成24年度から令和7年度までの事業であり、地質構造の把握によって、地表調査から掘削調査に移行した件数と、調査段階から探査・開発段階に移行した件数を6割程度とすることなどを目指します。

条件 (対象者、対象行為、補助率等)

補助 (1)(2)定額、(3)10/10



事業イメージ

(1) ポテンシャル調査

- 地熱開発の新規有望地点を開拓するため、JOGMECが、①空中物理探査 (ヘリコプターを用いた重力探査等による地下構造の調査)、②ヒートホール掘削 (低深度の掘削による地下の温度構造の調査)に加え、③先導的資源量調査 (開発難易度が高い地域において掘削等を行い蒸気・熱水分布を把握する調査)を実施します。

(2) 地表調査・掘削調査

- 地表調査 (地上で機器を使用した計測等の手法) を支援します。<補助率：2/3>
 (※) 地方自治体等が行う調査については補助率3/4
- 掘削調査 (試錐井を掘削し地熱資源の状況を把握) を支援します。
 - ① 重点開発地点 <補助率：3/4>
 (2.5万kW以上の大規模開発が見込まれるが、地質情報が明らかではなく開発リスクが高い地点等)
 - ② ①以外の2.5万kW以上の大規模開発地点 <補助率：2/3>
 - ③ 2.5万kW未満の開発地点 <補助率1/2>
 (※) 地方自治体等が行う調査については①～③とも補助率3/4
- 温泉資源との調和を図り、地熱開発を円滑に実施する上で重要な、温泉の流量・成分等のモニタリング調査等を支援します。<補助率：10/10>

<地熱発電の開発プロセス>



(3) 理解促進支援事業

- 地熱開発に対する地域住民等の理解促進に向けた勉強会などの取組を支援します。(対象：開発規模1,000kW以上)
- 地熱開発地点の周辺の温泉において、万が一何らかの理由により温泉の湧出量等が過度に減少した場合に、温泉井戸の代替掘削について支援します。(対象：開発規模5,000kW以上)